

平成29年度

入学者選抜要項



長崎県立大学
UNIVERSITY OF NAGASAKI

入学者選抜に関する問い合わせ先

長崎県立大学 学生支援課 学生グループ

【経営学部・地域創造学部】佐世保校

〒858-8580

長崎県佐世保市川下町123番地

電話番号 0956-47-5703

FAX 0956-47-4616

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

【国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部】シーボルト校

〒851-2195

長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1

電話番号 095-813-5065

FAX 095-813-5222

受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

目 次

1	理念と教育目標、学生受け入れ方針等	
(1)	長崎県立大学の理念と教育目標、学生受け入れ方針	1
(2)	経営学部	2
(3)	地域創造学部	4
(4)	国際社会学部	6
(5)	情報システム学部	7
(6)	看護栄養学部	9
2	平成29年度入学者選抜における主な変更点	12
3	募集人員	13
4	選抜日程について	14
5	入学者選抜方法等	15～17
6	一般入試	18～25
7	アドミッション・オフィス入試(AO入試)	26
8	特別選抜	
(1)	推薦入試	
ア)	経営学部	
	経営学科	27
	経営学科(アカウンティングコース)	28
	国際経営学科	29
イ)	地域創造学部	
	公共政策学科	30
	公共政策学科(県内離島高校区分)	31
	実践経済学科	32
ウ)	国際社会学部	
	国際社会学科	33
エ)	情報システム学部	
	情報システム学科	34
	情報セキュリティ学科	35

才) 看護栄養学部	
看護学科	36
看護学科 (離島看護師特別枠)	37
看護学科 (県内衛生看護枠)	38
栄養健康学科	39
(2) 帰国子女	40
(3) 社会人	41
(4) 私費外国人留学生	42~44
9 調査書の提出について	45
10 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置	45
11 個別入学資格審査について	45
12 入試情報の開示について	45
13 学生募集要項の請求方法等	46~47

1 理念と教育目標、学生受け入れ方針等

(1) 長崎県立大学の理念と教育目標、学生受け入れ方針

◆長崎県立大学の理念と教育目標

長崎県立大学は、「人間を尊重し平和を希求する精神を備えた創造性豊かな人材の育成」、「長崎に根ざした新たな知の創造」、「大学の総合力に基づく地域社会及び国際社会への貢献」を基本理念として掲げています。

このため、人間を尊重し世界の平和を希求する精神を基本に、深い洞察力と実践力を備えた感性豊かな人材を育成します。また、理論と実践を融合した高度な教育研究を推進するとともに、長崎の地理的・歴史的・文化的特性を踏まえた新たな知の創造を目指します。

さらに、社会における諸問題に大きな関心をもち、地域社会および国際社会に貢献できる人材を育成します。

◆学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

長崎県立大学は、上記の大学理念と教育目標を意欲的に実現する次のような学生を求めています。

- 人や自然を尊重できる人
- 何事にも好奇心をもち、積極的に挑戦したいと考えている人
- 目的をもって、忍耐強く努力したいと思っている人
- 長崎の歴史・文化や地域的特性に関心を持っている人
- 地域社会や国際社会に貢献したいと考えている人

(2) 経営学部

【教育目標】

経営学部では、現代の国内外の企業経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で経営上の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 経営に関する専門的・総合的な視野を備え、企業の経営における様々な課題を理解し、分析・解決できる人材
- 外国語を用いたコミュニケーション能力と国際的な視野を備え、グローバルに活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

経営学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- 企業の仕組み、マーケティング、簿記・会計などに関心を持つ人
- 国際的に展開する企業活動や、日本企業の現場の仕組みに関心を持つ人
- 企画力と課題解決能力を学び、チームで良質な製品・商品・サービスを顧客に提供することに強い関心を持つ人
- 外国語を用いて、グローバルに活躍するビジネスパーソンを目指す人

経営学 科	<p>【教育目標】</p> <p>経営学科では、現代の企業経営に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で様々な企業の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none">○経営、マーケティング、金融等に関する知識・知見を有し、企業の各分野において活躍できる人材○会計、簿記、税法等に関する専門的知識をもとに、企業や団体の経理部門で活躍できる人材○経営、会計等に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材 <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>経営学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none">●経営に関する専門知識を学び、企業を立ち上げたり、企業の成長に貢献したい人●マーケティング・流通に関する専門知識を学び、小売・サービス・金融・運輸などの分野で活躍したい人●会計の専門知識を学び、税理士や企業の経理部門で活躍したい人●経営に関する企画・立案能力を高めて、企業や地域社会の成長に貢献したい人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>経営学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none">●一般入試（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科4科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。●一般入試（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科4科目）を課すとともに、小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。●推薦入試（アカウンティングコース） 小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。●推薦入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供す
-------	---

	<p>る専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社会人入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
国際経営学科	<p>【教育目標】 国際経営学科では、現代の企業経営に必要な知識・知見と実践力及び国際的な経営感覚を身に付け、グローバルな視点で様々な企業の課題に主体的に対応できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○経営に関する知識・知見及び外国語を用いたコミュニケーション能力を有し、東アジア地域をはじめ海外展開をする企業や団体に活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 国際経営学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●語学力向上に意欲を持ち、国際社会の中で活躍したい人 ●国際的な経営に関する専門知識を学び、グローバルに活動する企業で活躍したい人 ●他国の人とも協働しながら経営に関する企画・立案能力を高めて、国際社会の成長に貢献したい人 <p>【入学者選抜の基本方針】 国際経営学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般入試（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科4科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般入試（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科4科目）を課すとともに、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試 個別学力検査等（英語）で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(3) 地域創造学部

【教育目標】

地域創造学部では、地域の発展に必要な知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 地域社会や地域経済が抱える様々な課題を専門的、総合的視野に立って理解し、分析・解決できる人材
- リーダーシップを有し、他者と協働して地域社会や地域経済のあり方を創造できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

地域創造学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- 地域社会や地域経済の課題に関心を持ち、その課題解決方法を学びたい人
- 積極的に地域に入って、課題の発見や分析を行いたい人
- 他者と協働してよりよい地域社会や地域経済を創造したい人

公 共 政 策 学 科	<p>【教育目標】</p> <p>公共政策学科では、公共という視点に立って、政策の企画・立案及び評価に関する知識・知見と実践力を身に付け、幅広い視野で地域の政策課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共政策に関する知識・知見を有し、地方自治体等において活躍できる人材 ○公共政策に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材 <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>公共政策学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域や私たちの身の回りのさまざまな政策課題について習得した知識を活かして、地域の豊かな暮らしの構築に向けて貢献したい人 ●政策の企画・立案について習得した知識を活かして、行政や民間企業で活躍したい人 ●地域の諸問題を分析・考察するための知識やスキルを活用して、地域づくりに貢献したい人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>公共政策学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般入試（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●一般入試（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目）を課すとともに、小論文で、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試（県内離島高校区分） 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目）を課すとともに、面接により、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力
-------------	---

	<p>等を評価します。</p> <p>面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●私費外国人留学生入試</p> <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p>
実践経済学科	<p>【教育目標】</p> <p>実践経済学科では、企業活動における企画・立案能力を有し、地域経済の動向を分析しその発展に寄与できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <p>○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、地域企業において活躍できる人材</p> <p>○経済学や地域経済に関する知識・知見を有し、教員として活躍できる人材</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】</p> <p>実践経済学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域経済や企業の動向などの分析に関心を持つ人 ●地域社会や企業において経済に関する実践的なスキルを活かして活躍したい人 ●経済学分野の実践的能力や立案能力を要する職種で活躍したい人 ●企業の国内外における取引や事業等においてグローバルな経済活動を目指す人 <p>【入学者選抜の基本方針】</p> <p>実践経済学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <p>●一般入試（前期日程）</p> <p>基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語又は数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>●一般入試（後期日程）</p> <p>基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目）を課すとともに、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>●推薦入試</p> <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●帰国子女入試</p> <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●社会人入試</p> <p>小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●私費外国人留学生入試</p> <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接では、日本語能力を評価するとともに、出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。</p>

(4) 国際社会学部

【教育目標】

国際社会学部では、国際社会及びメディアに関する知識と実践力を身に付け、グローバルな視野での課題解決能力及び情報発信能力を有する人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 政治、経済、社会をグローバルな視野でとらえ、地域社会や国際社会で活躍できる人材
- 高いコミュニケーション能力と情報収集・分析及び批判的・論理的思考能力を備え、自治体や企業の国際部門・マスコミ・多国籍企業等で活躍できる人材
- 東アジア地域に対する広い知見を深め、東アジア諸国を中心とした国際交流の推進や社会の発展に寄与できる人材
- 国際社会に関する知識を有し、教員として活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

国際社会学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- 国際政治や経済など国際社会の諸事象や仕組みについて幅広い関心を持つ人
- グローバル化する現代社会における諸問題を解決しようとする意欲を持つ人
- 現代社会におけるメディアに関心を持ち、社会の様々な出来事に対して自らの考えを論理的に展開できる人
- 東アジアに関心を持ち、東アジア諸国を中心とした国際交流の推進に貢献したい人
- 英語や中国語などの外国語による高いコミュニケーション能力を習得する意欲を持つ人

国際社会学科

【入学者選抜の基本方針】

国際社会学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、アドミッション・オフィス入試、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。

●一般入試（前期日程、後期日程）

基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（4教科5科目又は6科目、又は5教科5科目又は6科目）を課すとともに、個別学力検査等（英語）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

●アドミッション・オフィス入試（AO入試）

第1次選考では、出願書類に基づき、学科が求める学生像に合致しているか、学科を志望する理由が明確であるか、入学後の学習意欲や将来の展望が的確に示されているか、などの観点から評価します。

第2次選考では、小論文で課題に対する理解力、論理的思考力、表現力などの能力をみて、面接で出願書類を参考に、目的意識、学習意欲、学科が提供する専門分野に対する適性などを評価します。

●推薦入試

小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●帰国子女入試

小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●社会人入試

小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●私費外国人留学生入試

小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(5) 情報システム学部

【教育目標】

情報システム学部では、情報システムに関する知識と実践力を身に付け、高度情報化社会における課題を解決できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材
- 感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使して創造的デザイン分野で活躍できる人材
- 情報セキュリティに関する知識や技術を有し、情報セキュリティ分野で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

情報システム学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- 情報技術や情報セキュリティ技術に強い関心を持つ人
- 高度情報化社会における諸問題について解決を図ろうとする意欲を持つ人

情報システム学科	<p>【教育目標】 情報システム学科では、情報システムに関する広い視野と知識を備え、システム開発のプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○システム開発にかかる知識や技術を有し、情報技術分野で幅広く活躍できる人材 ○感性豊かな実践的創造力を有し、情報技術を駆使してデザイン分野で活躍できる人材 <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 情報システム学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Web、モバイル、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人 ●プログラミングやシステム構築などにより問題解決を図ろうとする意欲を持つ人 ●多様な情報メディアを活用して、コンテンツを制作する知識を深め、技術や感性を高めたい人 <p>【入学者選抜の基本方針】 情報システム学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般入試（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 ●推薦入試 小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●帰国子女入試 小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。
----------	---

【教育目標】

情報セキュリティ学科では、情報セキュリティ全般にわたる広い視野と知識を備え、情報セキュリティのプロフェッショナルとして活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

○情報セキュリティに関する知識や技術を有し、企業や行政などの情報セキュリティ分野で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

情報セキュリティ学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- 情報セキュリティに関する基本的な知識・技術を修得し、情報セキュリティ分野で活躍したい人
- Web、モバイル、ネットワークなどの情報技術に強い関心を持つ人
- プログラミングやシステム構築などにより問題解決を図ろうとする意欲を持つ人

【入学者選抜の基本方針】

情報セキュリティ学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。

●一般入試（前期日程、後期日程）

基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目）を課すとともに、個別学力検査等（数学）では、高等学校で得た基礎学力を前提に、理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

●推薦入試

小論文では、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●帰国子女入試

小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●社会人入試

小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を評価します。

面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

●私費外国人留学生入試

本学科が示す要件等をすべて満たしていることを条件に、面接では、調査書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、基礎知識、本学科が提供する専門分野に対する適性などを総合的に評価します。

(6) 看護栄養学部

【教育目標】

看護栄養学部では、人々の健康な生活を支援するため、豊富な科学的・専門的知識の修得と、あらゆる年齢層のさまざまな健康状態の人々と接することができる豊かな人間性を持つ人材の育成を目指すとともに、健康科学の基礎と応用を総合化した教育研究を推進することにより、実践的問題解決能力を養い、地域の保健・医療活動を通して、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。

- 看護師または管理栄養士として、人々の健康と福祉の向上に貢献できる人材
- 保健・医療・福祉の分野で、他職種と協働して専門的能力を発揮できる人材
- 看護の知識や技術が豊富な養護教諭または子どもたちの食育を担う栄養教諭として、教育現場で活躍できる人材

【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】

看護栄養学部では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。

- いのちの尊さを理解し、まじめに努力する人
- 人に対する思いやりを持ち、人の苦しみを共有できる人
- 科学を重視し、適確に物事を行える人
- 社会制度の変化に敏感かつ適正に対応できる人
- 協調性があり、他の職種の人々とチーム医療のできる人

看護学科	<p>【教育目標】 看護学科では、生命の尊厳と人権を尊重し、人間を深く理解し根拠に基づき行動する看護師や養護教諭として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○人々の健康ニーズ(健康増進、疾病予防・早期発見、健康回復、安寧な人生の看取り)に対応できる基礎的看護実践能力を有する看護師 ○保健・医療・福祉の分野で看護サービスの質向上に寄与できるリーダーシップの基礎的能力を有する看護師 ○看護の専門性を備えた教育職として活躍できる養護教諭</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 看護学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。 ●看護を通して、人々の健康生活に貢献したいと思っている人 ●物事を科学的に探究し、積極的・主体的に学ぶ姿勢がある人 ●看護学への学習意欲を持ち、専門性の高い看護職になりたいと希望している人 ●さまざまな世代の人々と、柔軟にコミュニケーションがとれる人</p> <p>【入学者選抜の基本方針】 看護学科では、一般入試（前期日程、後期日程）、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。 ●一般入試（前期日程、後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試 小論文で、高等学校で得た基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。 ●推薦入試（離島看護師特別枠） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。</p>
------	---

	<p>●帰国子女入試</p> <p>小論文で、日本の高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●社会人入試</p> <p>小論文で、高等学校で習得される程度の基礎学力を前提に、提示した素材により、読解力、論理的思考力、表現力等を評価します。</p> <p>面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。</p> <p>●私費外国人留学生入試</p> <p>面接で、志望理由書等の出願書類を参考に、志望動機、学習意欲、理解力、表現力、社会性、日本語による会話的表現力等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを総合的に評価します。</p>
--	--

<p>栄 養 健 康 学 科</p>	<p>【教育目標】 栄養健康学科では、健康社会実現のために社会の幅広い分野で貢献できる栄養専門家として活躍できる人材を育成します。具体的には次のような分野で活躍できる人材です。 ○地域の人々の健康作りの担い手あるいは高齢社会の食を支える管理栄養士 ○特定給食施設あるいは臨床現場で他のスタッフと連携・協働して栄養マネジメント・アセスメントを実践できる管理栄養士 ○食品開発、食糧資源の有効利用、食品衛生管理者などの資格を活かせる管理栄養士 ○次世代社会の子どもたちの食育を担う栄養教諭</p> <p>【学生受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）】 栄養健康学科では、教育目標に掲げる人材の育成を目指すため、以下のような学生を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●身近な「食と健康」を通して健康・福祉社会の創出に貢献したい人 ●保健・医療・健康分野や県や市町村などの管理栄養士を志す人 ●食品開発、食品の安全性や機能性などに興味を持っている人 ●子供たちの食育を通して健康生活づくりに寄与したい人 ●生命科学に根ざした「食と健康」を科学するスペシャリストになりたい人 <p>【入学者選抜の基本方針】 栄養健康学科では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、特別選抜（推薦入試など）を実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることを目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●一般入試（前期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科7科目）を課すとともに、個別学力検査で、高等学校で得た化学の基本的な知識と理解力について評価します。 ●一般入試（後期日程） 基礎学力の把握のため、大学入試センター試験（5教科6科目又は7科目）を課すとともに、個別学力検査（面接）で、志望動機や将来の展望などとともに、高等学校の一般的学习を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や理科学的思考などを総合的に問います。 ●推薦入試 和文及び英文の小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に判断します。 ●帰国子女入試 小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。英語に関する問題も含まれます。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望、高校生活等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●社会人入試 小論文で、課題に対する基礎的知識、読解力、分析力、論理的思考力、表現力等を評価します。英語に関する問題も含まれます。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。 ●私費外国人留学生入試 学力試験では、化学の基本的な知識と理解力について評価します。 面接で、志望動機、学科への関心、生命科学への関心、健康観、将来展望等の質疑応答から、目的意識と意欲を総合的に評価します。
--------------------	--

2 平成29年度入学者選抜における主な変更点

平成29年度より長崎県立大学入学者選抜において、以下の点を変更します。
各学部学科、入試区分ごとの細かな内容については、各ページをご参照ください。

(1) 国際社会学部AO入試における出願要件の追加

出願要件に以下の項目を追加する。

- ・実用英語技能検定（英検）準1級以上

(2) 特別選抜（推薦入試）出願要件における注意点

「平成28年熊本地震」による「平成28年度春期情報処理技術者試験」の九州地方での試験実施中止に伴い、沖縄県を除く九州地方（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）に所在する高校に在学している志願者のうち、当該試験の受験を予定していた者については、以下の学部学科において、次のとおり取り扱います。

情報システム学部 情報システム学科

(イ)の区分（情報処理技術者試験レベル1（ITパスポート試験）以上の試験に合格している者）で出願を希望する者のうち、上記に該当し出願の時点で当該区分の出願要件を満たしていない者については、(ア)の区分（「大学入試センター試験」（情報システム学科一般入試前期日程試験と同教科・科目）を受験する者）により出願すること。ただし、「平成28年度秋期情報処理技術者試験」においてレベル2（基本情報技術者試験又は情報セキュリティマネジメント試験）以上の試験に合格した者が、当該合格を証する書類に「平成28年度春期情報処理技術者試験」の受験を予定していたことを証する書類（受験票又は学校長名による証明；様式任意）を添付して提出した場合は、(イ)の区分での出願として取り扱う。なお、レベル1（ITパスポート試験）については、出願までに合格していなければ（イ）の区分での出願はできない。

情報システム学部 情報セキュリティ学科

(イ)の区分（情報処理技術者試験レベル2（基本情報技術者試験又は情報セキュリティマネジメント試験）以上の試験に合格している者）で出願を希望する者のうち、上記に該当し出願の時点で当該区分の出願要件を満たしていない者については、(ア)の区分（「大学入試センター試験」（情報セキュリティ学科一般入試前期日程試験と同教科・科目）を受験する者）により出願すること。ただし、「平成28年度秋期情報処理技術者試験」においてレベル2（基本情報技術者試験又は情報セキュリティマネジメント試験）以上の試験に合格した者が、当該合格を証する書類に「平成28年度春期情報処理技術者試験」の受験を予定していたことを証する書類（受験票又は学校長名による証明；様式任意）を添付して提出した場合は、(イ)の区分での出願として取り扱う。

(3) 経営学部、地域創造学部の特別選抜（私費外国人留学生）の選抜期日の変更

経営学部、地域創造学部においては選抜期日を一般入試（前期日程）と同日（平成29年2月25日）に変更します。

3 募集人員

(単位：人)

区 分			募 集 人 員									
			経営学部		地域創造学部		国際社会学部	情報システム学部		看護栄養学部		
			経営学科	アカウンティング ^ア コース	国際経営学科	公共政策学科	実践経済学科	国際社会学科	情報システム学科	情報メディア ^イ 学科	看護学科	栄養健康学科
AO入試								5				
特別選抜 (推薦入試)	県内	普通科等	20	10	12	15	25	15	10	12	16 (普通科13 離島看護師 特別枠 2 衛生看護枠1) ※2	10
		商業科等	10			5	5					
		離島高校				5						
	県外	普通科等	10		8	10	15	4	2			
		商業科等	5									
一般入試	前期日程		70	30	(英) ^{*1} 40	(英) ^{*1} 40	30	20	20	38	24	
	後期日程		15		10	(数) ^{*1} 20						(数) ^{*1} 25
特別選抜	帰国子女		若干名		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	社会人		若干名		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
	私費外国人留学生		若干名		若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
学 科 計			140	60	120	130	60	40	40	60	40	
学 部 計			200		250		60	80		100		
合 計			690									

【地域創造学部】

※1 前期日程は「英語」又は「数学」で個別学力検査等を実施するものであり、出願時に選択を行う必要があります。

【看護栄養学部】

※2 **看護学科**の普通科とは衛生看護科以外の科をいいます。

【共通】

各学科の特別選抜（帰国子女、社会人、私費外国人留学生）の募集人員（若干名）は、各学科の募集人員の内数です。

4 選抜日程について

■AO入試

学 部	国際社会学部
出願期間	平成28年 9月 8日 (木) ～9月16日 (金)
選抜期日	【第2次選考】平成28年10月15日 (土)
合格発表日	【第1次選考】平成28年 9月30日 (金)
	【第2次選考】平成28年10月21日 (金)

■特別選抜（推薦入試・帰国子女・社会人）

学 部	経営学部 地域創造学部	国際社会学部 情報システム学部 看護栄養学部
出願期間	平成28年11月 1日 (火)～11月10日 (木)	
選抜期日	【県内離島高校区分】 【アカウンティングコース】 平成28年11月19日 (土)	平成28年11月26日 (土)
	【県内離島高校区分、アカウンティングコースを 除く全ての区分】 平成28年11月26日 (土) ～11月27日 (日) ※ 帰国子女・社会人は26日のみ	
合格発表日	平成28年12月 2日 (金) ※公共政策学科（県内離島高校区分を除く）及び 看護学科「離島看護師特別枠」は、平成29年 2月 8日 (水)	

■特別選抜（私費外国人留学生）

学 部	全 学 部
出願期間	平成29年 1月 6日 (金)～1月13日 (金)
選抜期日	平成29年 2月25日 (土)
合格発表日	平成29年 3月 5日 (日)

■一般入試

学 部	全 学 部	
日程区分	前 期 日 程	後 期 日 程
出願期間	平成29年 1月23日 (月)～2月 1日 (水)	
選抜期日	平成29年 2月25日 (土)	平成29年 3月12日 (日)
合格発表日	平成29年 3月 5日 (日)	平成29年 3月21日 (火)

5 入学者選抜方法等

(1) 一般入試、アドミッション・オフィス入試

選抜方法等 学部・学科名	一般入試										専門 高校・総合学科卒業生選抜	アドミッション・オフィス入試					備考 (欠員の補充の方法等)
	日程区分	個別学力検査を課する	実技検査等				2段階選抜					個別学力検査を課する	実技検査等				
			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として、調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数		小論文を課する			外国語におけるリスニングテストを課する				
								定員に対する倍率	その他					実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	
経営	経営 国際経営	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	入学定員に欠員が生じたときは、原則として追加合格者を決定し補充することとするが、 欠員補充第二次募集を行う場合がある。	
	後期	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
地域創造	公共政策 実践経済	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	後期	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
国際社会	国際社会	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×		
	後期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×		
情報システム	情報システム 情報セキュリティ	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	後期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
看護栄養	看護	前期	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		後期	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	栄養健康	前期	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
		後期	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

(注)○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。

(2) 特別選抜

選抜方法等 学部・学科名	区分	推薦入試								帰国子女・社会人等のための特別選抜				備考	
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する								募集人員	帰国子女 社会人 中国引揚者等子女 私費外国人留学生				
		個別 センター 試験を 免除し、 大学 入試	個別 学力 検査 及び 大学 入試	実技検査等					その他						
				実技 検査 を課 する	面接 を行 う	小論 文を 課す る	外国 語に おけ るリ スニ ング テスト を課 する								
経営	県内	普通科等	※1	×	×	○	○	×	×	20	○	○	×	○	
		商業科等	×	○	×	○	○	×	×	10					
	県外	普通科等	※1	×	×	○	○	×	×	10					
		商業科等	×	○	×	○	○	×	×	5					
	アカウ ン ス グ	×	○	×	○	○	×	×	10						
国際経営	県内	※2	×	×	○	×	×	○ ※2	12	○	○	×	○		
	県外	※2	×	×	○	×	×	○ ※2	8						
地域創造	県内		○	×	×	○	×	×	×	15	○	○	×	○	
		離島 高校	×	○	×	○	○	×	×	5					
	県外	○	×	×	○	×	×	×	10						
実践経済	県内	普通科等	※1	×	×	○	○	×	×	25	○	○	×	○	
		商業科等	×	○	×	○	○	×	×	5					
	県外	※1	×	×	○	○	×	×	15						

(注) ○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。

(注) 県内・県外の別は志願者の出身高校の所在地(都道府県)によって判断します。

(※1) 経営学科、実践経済学科では、センター試験(学科指定科目)受験が出願要件になります。ただし、センター試験の結果は合否判定には用いません。

(※2) 国際経営学科では、学科が指定する資格等への合格かセンター試験(学科指定科目)受験が要件になります。センター試験の結果は合否判定には用いませんが、面接に加え、個別学力試験(英語)を実施します。

選抜方法等	学部・学科名	区分	推薦入試							募集人員	帰国子女・社会人等のための特別選抜				備考
			入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定する								帰国子女	社会人	中国引揚者等子女	私費外国人留学生	
			個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課する	個別学力検査及び大学入試センター試験を免除する	実技検査等										
					実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	その他						
国際社会	国際社会	県内	※3	×	×	○	○	×	×	15					
		県外								4					
情報システム	情報システム	県内	※3	×	×	○	○	×	×	10	○	○	×	○	
		県外								2					
	情報システム キャリア	情報システム キャリア		※3	×	×	○	○	×	×	12				
看護栄養	看護	県内	普通科	×	○	×	○	○	×	×	13	○	○	×	○
			離島看護師 特別枠	○	×	×	○	×	×	×	2				
			衛生看護師 特別枠	×	○	×	○	○	×	×	1				
	栄養健康	県内	※4	×	×	○	○	×	×	10					

(注)○印は該当することを示し、×印は該当しないことを示します。

(注)県内・県外の別は志願者の出身高校の所在地(都道府県)によって判断します。

(※3)国際社会学部、情報システム学部では、学科が指定する資格等への合格かセンター試験(学科指定科目)受験が要件になります。ただし、センター試験の結果は合否判定には用いません。

(※4)栄養健康学科では、センター試験(学科指定科目)受験が受験要件になります。ただし、センター試験の結果は合否判定には用いません。

6 一般入試

(1) 出願資格

平成29年度大学入試センター試験のうち、本学が指定する教科・科目を受験した者（外国語において英語を選択した者はリスニングテストも必ず受験すること）で、以下の各号のいずれかに該当する者としてします。

- ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者
- ③外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- ④文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑥文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
- ⑦高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成29年3月31日までに合格見込みの者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- ⑧本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者

(2) 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験と個別学力検査等の成績及び出願書類の内容を総合的に判定して行います。

また、大学入試センター試験及び個別学力検査等の利用教科・科目等については、19～23ページの「入学者選抜の利用教科・科目等について」を参照してください。

なお、大学入試センター試験で本学が指定した教科・科目（外国語において英語を選択した者はリスニングテスト必須）を受験しなかった場合は、個別学力検査等を受験しても失格となります。

(3) 成績の利用方法

大学入試センター試験の「地理歴史、公民」又は「理科」の基礎を付さない科目について、2科目を受験した場合、本学部・学科が受験科目数を1科目と指定しているものに関しては、第1解答科目の得点を採用します。

(4) 経営学部、地域創造学部の第2志望について

出願の際に、同一学部内の他学科を第2志望の学科として志望することができます。この場合には選抜の結果、第2志望の学科の合格者となることがありますので、十分考慮してください。

また、経営学科を志望し、第2志望で国際経営学科を志望する場合には、大学入試センター試験の「外国語」については、必ず英語を選択してください。

(5) 科目の記載について

『』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目とする。

(6) 入学選抜試験の利用教科・科目等について

【経営学部】

経営学科

日程	大学入試センター試験(4教科4科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」 から1科目	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』 から1科目	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』 から1科目		『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	合計
	配点	200	100	100		200	200	800	
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」 から1科目	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』 から1科目	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』 から1科目		『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	小論文 (高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価する試験問題)	合計
	配点	200	100	100		200	100	700	

国際経営学科

日程	大学入試センター試験(4教科4科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」 から1科目	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』 から1科目	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』 から1科目		『英語』	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	合計
	配点	200	100	100		250	200	850	
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」 から1科目	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』 から1科目	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』 から1科目		『英語』	小論文 (高等学校で得た基礎学力を前提に、課題に対する理解力、考察力、論理的思考力及び記述力を評価する試験問題)	合計
	配点	200	100	100		250	100	750	

【地域創造学部】

公共政策学科・実践経済学科（共通）

日程	大学入試センター試験(4教科5科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」 から1科目	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』		『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ) 又は 数学 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B) * 数Bは「数列」、 「ベクトル」を出題 範囲とする。	合計
	配点	200	200	200	200		200	200	1000
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」 から1科目	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』		『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	小論文 (高等学校で得た 基礎学力を前提 に、課題に対する 理解力、考察力、 論理的思考力及 び記述力を評価 する試験問題)	合計
	配点	200	200	200	200		200	100	900

【国際社会学部】

国際社会学科

日程	大学入試センター試験(4教科5科目又は6科目)又は(5教科5科目又は6科目)							個別学力検査	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学※	理科※	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理、政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』 から1科目	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	合計
	配点	200	100		※数学・理科から選択 100		250	200	850
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理、政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』 から1科目	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、 コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、 英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ)	合計
	配点	200	100		※数学・理科から選択 100		250	200	850

【情報システム学部】

情報システム学科

日程	大学入試センター試験(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	数学 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B) * 数Bは「数列」, 「ベクトル」を出題 範囲とする。	合計
	配点	200	100	100	200	100	250	200	1050
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	数学 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B) * 数Bは「数列」, 「ベクトル」を出題 範囲とする。	合計
	配点	200	100	100	200	100	250	200	1050

情報セキュリティ学科

日程	大学入試センター試験(5教科6科目)							個別学力検査	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	数学 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B) * 数Bは「数列」, 「ベクトル」を出題 範囲とする。	合計
	配点	200	100	100	200	100	250	200	1050
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	数学 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数Ⅲ, 数A, 数B) * 数Bは「数列」, 「ベクトル」を出題 範囲とする。	合計
	配点	200	100	100	200	100	250	200	1050

【看護栄養学部】

看護学科

日程	大学入試センター試験(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 から1科目	『英語』	小論文[200] (高等学校の一般的学習を前提にして、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を問う記述試験。)面接[100] (調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを評価。)	合計
	配点	200	100	100	200	100	200	300	1100
後期 3月12日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 から1科目	『英語』	小論文[200] (高等学校の一般的学習を前提にして、課題に対する理解力、論理的思考力、表現力等を問う記述試験。)面接[100] (調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを評価。)	合計
	配点	200	100	100	200	100	200	300	1100

栄養健康学科

日程	大学入試センター試験(5教科7科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
前期 2月25日	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から2科目	『英語』	化学基礎・化学	合計
	配点	200	100	100	200	200	200	200	1100
後期 3月12日	大学入試センター試験(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査等	
	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語		
	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」 から1科目	『英語』	面接 (志望動機や将来の展望などとともに、高等学校の一般的学習を前提とした栄養・健康・生命科学に関する時事的諸問題についての理解力や理科学的思考力などを総合的に問う。)	合計
配点	200	100	100	200	200	200	200	1100	

【注意事項】

①大学入試センター試験の利用方法について

※以下、「」内記載のものは全て教科名

経営学科	「数学」について、2科目受験した場合はいずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算し、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の得点は200点満点をそのまま利用します。
国際経営学科	「数学」について、2科目受験した場合はいずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
公共政策学科 実践経済学科	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を200点満点に換算します。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算し、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の得点は200点満点をそのまま利用します。
国際社会学科	「数学」・「理科」について、2教科受験した場合はいずれか高得点の教科を合否判定に用います。
	「数学」について、2科目受験した場合はいずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付す科目（100点（50点×2）満点）と基礎を付さない科目（100点満点）を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）をそのまま利用し、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の得点は200点満点を250点満点に換算します。
情報システム学科	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付す科目（100点（50点×2）満点）と基礎を付さない科目（100点満点）を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）をそのまま利用し、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の得点は200点満点を250点満点に換算します。
情報セキュリティ学科	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）をそのまま利用し、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語の得点は200点満点を250点満点に換算します。
看護学科	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付す科目（100点（50点×2）満点）と基礎を付さない科目（100点満点）を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算します。
栄養健康学科 （前期日程）	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算します。
栄養健康学科 （後期日程）	「地理歴史・公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用います。
	「理科」の基礎を付さない科目を2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用い、100点満点を200点満点に換算します。
	「理科」の基礎を付す科目（100点（50点×2）満点）と基礎を付さない科目（100点満点）を受験した場合は、いずれか高得点の科目を合否判定に用い、100点満点を200点満点に換算します。
	「外国語」の英語は、筆記試験（200点満点）とリスニングテスト（50点満点）の合計得点（250点満点）を200点満点に換算します。

- ②「外国語」の『英語』を受験する者は、リスニングテストを必ず受験してください。
- ③国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部が指定している科目を第1解答科目として受験せず、第2解答科目として受験した場合は、出願資格を満たさないものとして取り扱います。
- ④栄養健康学科の個別学力検査等（前期日程）の化学基礎・化学は、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題する場合があります。必ず使用するとは限りません。また、入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも、一部改変することもあります。
- 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧については、次のURLにて公表しています。

<http://www.nyushikakomon.jp/>

7 アドミッション・オフィス入試（AO入試）

実施学部	国際社会
学科名	国際社会
区分	全ての区分
募集人員	5名
出願要件	<p>①～③のすべてに該当する者</p> <p>①次の i. ～viii. のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> i. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者 ii. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成29年3月修了見込みの者 iii. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 iv. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者 v. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 vi. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号） vii. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成29年3月31日までに合格見込みの者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。） viii. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成29年3月31日までに18歳に達する者 <p>②本学の教育内容を十分理解したうえで、本学で学ぶことを強く希望し、合格した場合には入学することを確約できる者</p> <p>③次の（ア）又は（イ）のいずれかに該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> （ア）次の i. ～v. のいずれかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> i. 実用英語技能検定（英検）準1級以上 ii. TOEIC 公開試験スコア 600 点以上 iii. TOEFL iBT 試験スコア 64 点以上 iv. TOEFL PBT 試験スコア 507 点以上 v. GTEC for STUDENTS 試験 610 点以上 （イ）次の i. ～iii. のいずれかに該当する者 <ul style="list-style-type: none"> i. 中国語検定（中検）4 級以上 ii. 新 HSK（2010年度以降受験）4 級以上 iii. TECC 公開試験スコア 450 点以上 <p>※HSK 5級・6級については、300点満点の6割（180点）以上を取得</p>
選抜方法	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された自己推薦書等の出願書類及び大学が実施する小論文及び面接の結果を総合して合格者を決定する。</p> <p>(1) 第1次選考：出願時に提出された書類（自己推薦書等）により選考を行う。</p> <p>(2) 第2次選考：第1次選考の合格者に対し、小論文及び面接を課し、出願時に提出された書類の内容を含めて総合的に判定する。</p>
出願期間	平成28年 9月 8日（木）～9月16日（金）
選抜期日	【第2次選考】平成28年10月15日（土）
合格発表日	<p>【第1次選考】平成28年 9月30日（金）</p> <p>【第2次選考】平成28年10月21日（金）</p>
その他	

8 特別選抜

(1) 推薦入試

ア) 経営学部

学 部 名	経 営	
学 科 名	経 営	
区 分	アカウンティングコースを除く全ての区分	
募集人員	県 内： 30名 〔 普通科等 20名 〕 〔 商業科等 10名 〕	県 外： 15名 〔 普通科等 10名 〕 〔 商業科等 5名 〕
出 願 要 件	<p>①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>②調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>③次の(ア)又は(イ)の区分に応じ、それぞれの要件を満たす者</p> <p>(ア) 普通科等 普通科のほか、理数科、英語科など本学が普通科に準ずると認める学科及び下記の(イ)商業科等の区分に属さない学科を対象とする。</p> <p>「大学入試センター試験」(経営学科一般入試前期日程試験と同教科・科目)を受験する者 ※「大学入試センター試験」の結果は合否の判定資料にはしない。ただし、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。</p> <p>(イ) 商業科等 この区分は、商業高校の全科を含む。また、総合学科等に所属し、商業に関する科目を20単位以上修得した者(又は修得見込みの者)を対象とする。 ※総合学科以外の学科でも、商業に関する科目を20単位以上修得した者(又は修得見込みの者)は、商業科等の区分での出願となる。</p> <p>次の i. ～ ii. のいずれかに該当する者</p> <p>i. 日本商工会議所主催簿記検定試験2級以上</p> <p>ii. 全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験第1級</p> <p>④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p>	
選 抜 方 法	提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。	
出 願 期 間	平成28年11月 1日(火)～11月10日(木)	
選 抜 期 日	平成28年11月26日(土)～11月27日(日)	
合 格 発 表 日	平成28年12月 2日(金)	
そ の 他	<p>○1 高等学校当たりの推薦できる人数</p> <p>①「普通科等」は、1高等学校(分校を含む)につき3名以内とする。</p> <p>②「商業科等」は、推薦できる人数の制限をしない。</p>	

学 部 名	経 営
学 科 名	経 営
区 分	アカウンティングコース
募集人員	10名
出 願 要 件	<p>①～③のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>①高等学校を平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>②次の（ア）及び（イ）のいずれにも該当する者 （ア）調査書の全体の評定平均値が4.3以上 （イ）日本商工会議所主催簿記検定試験2級以上</p> <p>③志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学し、「アカウンティングコース」に所属することを確約できる者</p>
選 抜 方 法	提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。
出 願 期 間	平成28年11月 1日（火）～11月10日（木）
選 抜 期 日	平成28年11月19日（土）
合 格 発 表 日	<p>平成28年12月 2日（金）</p> <p>※ 学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。</p> <p>※ 平成28年11月24日（木）までに受験者が所属する各高等学校長に対して受験結果を通知する。</p>
そ の 他	<p>○1高等学校当たりの推薦できる人数 1高等学校（分校を含む）につき3名以内とする。</p> <p>また、この区分に出願した者は、経営学科の他の区分に併願することができる。併願先の区分において、1高等学校あたりの推薦できる人数は、枠外の扱いとする。</p>

学 部 名	経 営	
学 科 名	国 際 経 営	
区 分	全ての区分	
募集人員	県 内： 12名	県 外： 8名
出 願 要 件	<p>①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>②調査書の「外国語」(英語)の評定平均値が4.3以上の者</p> <p>③次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者 (ア)「大学入試センター試験」(国際経営学科一般入試前期日程試験と同教科・科目)を受験する者 ※「大学入試センター試験」の結果は合否の判定資料にはしない。ただし、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。 (イ) 次の i. ～ v. のいずれかに該当する者 i. 実用英語技能検定(英検)2級以上 ii. TOEIC 公開試験スコア 500 点以上 iii. TOEFL iBT 試験スコア 51 点以上 iv. TOEFL PBT 試験スコア 470 点以上 v. GTEC for STUDENTS 試験 520 点以上</p> <p>④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p>	
選 抜 方 法	提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する個別学力検査(英語)、面接の結果を総合して選抜する。	
出 願 期 間	平成28年11月 1日(火)～11月10日(木)	
選 抜 期 日	平成28年11月26日(土)～11月27日(日)	
合 格 発 表 日	平成28年12月 2日(金) ※ 学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。	
そ の 他	○1高等学校当たりの推薦できる人数 1高等学校(分校を含む)につき3名以内とする。	

イ) 地域創造学部

学 部 名	地 域 創 造																																									
学 科 名	公 共 政 策																																									
区 分	県内離島高校区分を除く全ての区分																																									
募集人員	県 内： 15名				県 外： 10名																																					
出 願 要 件	<p>①～③のすべてに該当する者、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>②調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>③志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p>																																									
選 抜 方 法	<p>提出された推薦書、調査書等の出願書類、大学が実施する面接及び大学入試センター試験の成績結果を総合して選抜する。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="7">大学入試センター試験(4教科5科目)</th> <th rowspan="2">個別学力検査等</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>国語</th> <th>地理歴史</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>科目</td> <td>『国語』</td> <td>「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」</td> <td>「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』</td> <td>『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』</td> <td style="text-align: center;">/</td> <td>『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目</td> <td>面接 (調査書等の出願書類を参考に、本学進学のための意識、学習意欲、社会経済への関心度等を評価する。)</td> <td>600</td> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>100</td> <td>100</td> <td></td> <td>100</td> <td></td> <td>100</td> <td>200</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table>								大学入試センター試験(4教科5科目)							個別学力検査等	合計	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	科目	『国語』	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	/	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	面接 (調査書等の出願書類を参考に、本学進学のための意識、学習意欲、社会経済への関心度等を評価する。)	600	配点	100	100		100		100	200	600
大学入試センター試験(4教科5科目)							個別学力検査等	合計																																		
教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語																																				
科目	『国語』	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 『倫理, 政治・経済』	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	/	『英語』 『ドイツ語』 『フランス語』 『中国語』 『韓国語』 から1科目	面接 (調査書等の出願書類を参考に、本学進学のための意識、学習意欲、社会経済への関心度等を評価する。)	600																																		
配点	100	100		100		100	200	600																																		
出 願 期 間	平成28年11月 1日(火)～11月10日(木)																																									
選 抜 期 日	平成28年11月26日(土)～11月27日(日)																																									
合 格 発 表 日	<p>平成29年 2月 8日(水)</p> <p>※ 学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。</p>																																									
そ の 他	<p>○1高等学校当たりの推薦できる人数 1高等学校(分校を含む)につき3名以内とする。</p>																																									

学 部 名	地 域 創 造
学 科 名	公 共 政 策
区 分	県内離島高校区分
募集人員	5名
出 願 要 件	<p>①～③のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>①長崎県内の離島（離島振興法に規定する地域）の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者（定時制課程も1高等学校とみなす。）</p> <p>②次の（ア）及び（イ）のいずれにも該当する者 （ア）調査書の全体の評定平均値が4.0以上、かつ「国語」「数学又は商業」、「外国語」の3教科の評定平均値の平均が4.0以上の者 （イ）志望学科に対し適性を有する者で、学習を含めた学校内外の活動に意欲的に取り組んだ者</p> <p>③志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p>
選 抜 方 法	提出された推薦書、調査書等の出願書類、大学が実施する小論文、面接の成績結果を総合して選抜する。
出 願 期 間	平成28年11月 1日（火）～11月10日（木）
選 抜 期 日	平成28年11月19日（土）
合 格 発 表 日	<p>平成28年12月 2日（金）</p> <p>※ 学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。</p> <p>※ 平成28年11月24日（木）までに受験者が所属する各高等学校長に対して受験結果を通知する。</p>
そ の 他	<p>○1高等学校当たりの推薦できる人数 1高等学校につき1名とする。</p> <p>また、この区分に出願した者は、公共政策学科県内高校区分に併願することができる。併願先の区分において、1高等学校あたりの推薦できる人数は、枠外の扱いとする。</p>

学 部 名	地 域 創 造	
学 科 名	実 践 経 済	
区 分	全ての区分	
募集人員	県 内： 30名 〔 普通科等 25名 〕 〔 商業科等 5名 〕	県 外： 15名
出 願 要 件	<p>①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>②調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>③次の（ア）又は（イ）の区分に応じ、それぞれの要件を満たす者 （ア）県内普通科等及び県外高校 普通科のほか、理数科、英語科など本学が普通科に準ずると認める学科及び下記の（イ）県内商業科等の区分に属さない学科を対象とする。</p> <p>「大学入試センター試験」（実践経済学科一般入試前期日程試験と同教科・科目）を受験する者 ※「大学入試センター試験」の結果は合否の判定資料にはしない。ただし、受験しなかった場合（受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。）は、合格発表後であっても合格を取り消す。</p> <p>（イ）県内商業科等 この区分は、長崎県内の商業高校の全科を含む。また、長崎県内の総合学科等に所属し、商業に関する科目を20単位以上修得した者（又は修得見込みの者）を対象とする。 ※総合学科以外の学科でも、商業に関する科目を20単位以上修得した者（又は修得見込みの者）は、商業科等の区分での出願となる。</p> <p>次の i. ～ v. のいずれかに該当する者 i. 日本商工会議所主催簿記検定試験2級以上 ii. 全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験第1級 iii. 情報処理技術者試験 レベル1（ITパスポート試験）以上 iv. 全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験第1級 v. 実用英語技能検定（英検）2級以上</p> <p>④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p>	
選 抜 方 法	提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。	
出 願 期 間	平成28年11月 1日（火）～11月10日（木）	
選 抜 期 日	平成28年11月26日（土）～11月27日（日）	
合 格 発 表 日	平成28年12月 2日（金） ※ 学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。	
そ の 他	○1 高等学校当たりの推薦できる人数 ①「県内普通科等及び県外高校」は、1高等学校（分校を含む）につき3名以内とする。 ②「県内商業科等」は、推薦できる人数の制限をしない。	

ウ) 国際社会学部

実施学部	国際社会	
学科名	国際社会	
区分	全ての区分	
募集人員	県内： 15名	県外： 4名
出願要件	<p>①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>②調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>③次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者 (ア)「大学入試センター試験」(国際社会学部一般入試前期日程試験と同教科・科目)を受験する者 ※「大学入試センター試験」の結果は可否の判定資料にはしない。ただし、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。 (イ) 次の i. ～viii. のいずれかに該当する者 i. 実用英語技能検定(英検)2級以上 ii. TOEIC 公開試験スコア 500 点以上 iii. TOEFL iBT 試験スコア 51 点以上 iv. TOEFL PBT 試験スコア 470 点以上 v. GTEC for STUDENTS 試験スコア 520 点以上 vi. 中国語検定(中検)準4級以上 vii. 新 HSK (2010年度以降受験)3級以上 viii. TECC 公開試験スコア 380 点以上 ※HSK 5級・6級については、300点満点の6割(180点)以上を取得</p> <p>④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p>	
選抜方法	提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。	
出願期間	平成28年11月 1日(火)～11月10日(木)	
選抜期日	平成28年11月26日(土)	
合格発表日	平成28年12月 2日(金) ※学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。	
その他	○1高等学校当たりの推薦できる人数 1高等学校(分校を含む)につき2名以内とする。	

エ) 情報システム学部

実施学部	情報システム	
学科名	情報システム	
区分	全ての区分	
募集人員	県内： 10名	県外： 2名
出願要件	<p>①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>①「県内」枠は長崎県内、「県外」枠は長崎県外の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>②調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>③次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者 (ア)「大学入試センター試験」(情報システム学科一般入試前期日程試験と同教科・科目)を受験する者 ※「大学入試センター試験」の結果は合否の判定資料にはしない。ただし、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む)は、合格発表後であっても合格を取り消す。</p> <p>(イ)情報処理技術者試験 レベル1(ITパスポート試験)以上の試験に合格している者</p> <p>※「平成28年熊本地震」による「平成28年度春期情報処理技術者試験」の九州地方での試験実施中止に伴い、沖縄県を除く九州地方(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)に所在する高校に在学している志願者のうち、当該試験の受験を予定していた者については、以下の学部学科において、次のとおり取り扱います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(イ)の区分(情報処理技術者試験レベル1(ITパスポート試験)以上の試験に合格している者)で出願を希望する者のうち、上記に該当し出願の時点で当該区分の出願要件を満たしていない者については、<u>(ア)の区分(「大学入試センター試験」(情報システム学科一般入試前期日程試験と同教科・科目)を受験する者)により出願すること。</u>ただし、「平成28年度秋期情報処理技術者試験」においてレベル2(基本情報技術者試験又は情報セキュリティマネジメント試験)以上の試験に合格した者が、当該合格を証する書類に「平成28年度春期情報処理技術者試験」の<u>受験を予定していたことを証する書類(受験票又は学校長名による証明;様式任意)</u>を添付して提出した場合は、<u>(イ)の区分での出願として取り扱う。</u>なお、レベル1(ITパスポート試験)については、出願までに合格していなければ(イ)の区分での出願はできない。</p> </div> <p>④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p>	
選抜方法	提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。	
出願期間	平成28年11月 1日(火)～11月10日(木)	
選抜期日	平成28年11月26日(土)	
合格発表日	平成28年12月 2日(金) ※学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。	
その他	○1高等学校当たりの推薦できる人数 1高等学校(分校を含む)につき2名以内とする。	

実施学部	情報システム
学科名	情報セキュリティ
区分	全ての区分
募集人員	12名
出願要件	<p>①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>①日本国内に所在する高等学校を平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>②調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>③次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当する者 (ア)「大学入試センター試験」(情報セキュリティ学科一般入試前期日程試験と同教科・科目)を受験する者 ※「大学入試センター試験」の結果は合否の判定資料にはしない。ただし、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。</p> <p>(イ)情報処理技術者試験 レベル2(基本情報技術者試験又は情報セキュリティマネジメント試験)以上の試験に合格している者</p> <p>※「平成28年熊本地震」による「平成28年度春期情報処理技術者試験」の九州地方での試験実施中止に伴い、沖縄県を除く九州地方(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県)に所在する高校に在学している志願者のうち、当該試験の受験を予定していた者については、以下の学部学科において、次のとおり取り扱います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(イ)の区分(情報処理技術者試験レベル2(基本情報技術者試験又は情報セキュリティマネジメント試験)以上の試験に合格している者)で出願を希望する者のうち、上記に該当し出願の時点で当該区分の出願要件を満たしていない者については、<u>(ア)の区分(「大学入試センター試験」(情報セキュリティ学科一般入試前期日程試験と同教科・科目)を受験する者)により出願すること。</u>ただし、「平成28年度秋期情報処理技術者試験」においてレベル2(基本情報技術者試験又は情報セキュリティマネジメント試験)以上の試験に合格した者が、当該合格を証する書類に「平成28年度春期情報処理技術者試験」の<u>受験を予定していたことを証する書類(受験票又は学校長名による証明;様式任意)</u>を添付して提出した場合は、<u>(イ)の区分での出願として取り扱う。</u></p> </div> <p>④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p>
選抜方法	提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成28年11月 1日(火)～11月10日(木)
選抜期日	平成28年11月26日(土)
合格発表日	平成28年12月 2日(金) ※学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。
その他	○1高等学校当たりの推薦できる人数 1高等学校(分校を含む)につき2名以内とする。

才) 看護栄養学部

実施学部	看護栄養
学科名	看護
区分	離島看護師特別枠および県内衛生看護枠を除く全ての区分
募集人員	13名
出願要件	<p>①～③のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>①長崎県内の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>②調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>③志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p>
選抜方法	提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成28年11月 1日(火)～11月10日(木)
選抜期日	平成28年11月26日(土)
合格発表日	<p>平成28年12月 2日(金)</p> <p>※学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。</p>
その他	<p>○1高等学校当たりの推薦できる人数</p> <p>1高等学校(分校を含む)につき2名以内とする。</p>

実施学部	看護栄養																																									
学科名	看護																																									
区分	離島看護師特別枠																																									
募集人員	2名																																									
出願要件	<p>①～⑤のすべてに該当する者</p> <p>①長崎県内の高等学校（離島部に地域を限定しない）を平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>②離島医療を担う看護師を志し、人物・学力ともに優秀で、看護学科に対し適性を有し、長崎県の離島医療に貢献することを高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>③長崎県病院企業団の離島の病院（五島中央病院、上五島病院、対馬病院、壱岐病院）の修学資金の貸与を受けることを確約できる者（修学資金の貸与を受けることを前提とした長崎県病院企業団企業長（若しくは長崎県病院企業団の離島の病院長）の推薦書を出願書類と併せて提出すること） ※修学資金の貸与については、別途申込期日があるので確認をすること。 ※修学資金は、貸与期間の2倍の期間以上資金を貸与した離島病院に在職した場合に返還が免除される。</p> <p>④志願者は、本学の離島看護師特別枠入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p> <p>⑤調査書の全体の評定平均値が3.8以上である者</p>																																									
選抜方法	<p>提出された推薦書、調査書等の出願書類、大学が実施する面接及び大学入試センター試験の成績結果を総合して選抜する。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="7">大学入試センター試験(5教科6科目又は7科目)</th> <th rowspan="2">個別学力検査等</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>教科</th> <th>国語</th> <th>地理歴史</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>科目</td> <td>『国語』</td> <td>「世界史B」 「日本史B」 「地理B」</td> <td>「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」</td> <td>『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』</td> <td>「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 から1科目</td> <td>『英語』</td> <td>面接 (調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを評価。)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>配点</td> <td>100</td> <td>50</td> <td></td> <td>100</td> <td>50</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>※大学入試センター試験の「国語」「数学」は(200点満点)を(100点満点)、「地歴・公民」「理科」は(100点満点)を(50点満点)、外国語の英語は、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点(250点満点)を(100点満点)に換算する。</p>								大学入試センター試験(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査等	合計	教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 から1科目	『英語』	面接 (調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを評価。)		配点	100	50		100	50	100	100	500
大学入試センター試験(5教科6科目又は7科目)							個別学力検査等	合計																																		
教科	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語																																				
科目	『国語』	「世界史B」 「日本史B」 「地理B」	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	『数学Ⅰ・数学A』 『数学Ⅱ・数学B』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 から2科目 又は 「物理」 「化学」 「生物」 から1科目	『英語』	面接 (調査書等の出願書類を参考に、学習意欲、理解力、表現力、社会性等、本学科が提供する専門領域に対する適性などを評価。)																																			
配点	100	50		100	50	100	100	500																																		
出願期間	平成28年11月 1日(火)～11月10日(木)																																									
選抜期日	平成28年11月26日(土)																																									
合格発表日	平成29年 2月 8日(水) ※学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。																																									
その他	○1高等学校当たりの推薦できる人数 1高等学校につき1名以内																																									

実施学部	看護栄養
学科名	看護
区分	県内衛生看護枠
募集人員	1名
出願要件	<p>①～④のすべてに該当する者</p> <p>①長崎県内の高等学校の衛生看護科を平成29年3月卒業（修了）見込みの者</p> <p>②志願者が在籍する高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>③志願者は、人物・学力ともに優秀で、看護学科に対し適性を有する者</p> <p>④志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p>
選抜方法	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成28年11月 1日（火）～11月10日（木）
選抜期日	平成28年11月26日（土）
合格発表日	<p>平成28年12月 2日（金）</p> <p>※ 学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。</p>
その他	<p>○1高等学校当たりの推薦できる人数</p> <p>1高等学校につき2名以内</p>

実施学部	看護栄養
学科名	栄養健康
区分	全ての区分
募集人員	10名
出願要件	<p>①～④のすべてに該当する者で、人物・学力ともに優秀で、高等学校長が責任を持って推薦できる者</p> <p>①長崎県内の高等学校を平成29年3月卒業見込みの者</p> <p>②調査書の全体の評定平均値が3.8以上の者</p> <p>③志願者は、本学の推薦入試に限定して志願する者で、合格した場合には本学に入学することを確約できる者</p> <p>④「大学入試センター試験」(栄養健康学科一般入試後期日程試験と同教科・科目)を受験する者 ※「大学入試センター試験」の結果は合否の判定資料にはしない。ただし、受験しなかった場合(受験した科目が定められた条件を満たさない場合を含む。)は、合格発表後であっても合格を取り消す。</p>
選抜方法	提出された推薦書、調査書等の出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成28年11月 1日(火)～11月10日(木)
選抜期日	平成28年11月26日(土)
合格発表日	平成28年12月 2日(金) ※学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知を、受験者が在籍する各高等学校長に対して受験結果通知書を発送する。
その他	○1高等学校当たりの推薦できる人数 1高等学校(分校を含む)につき2名以内とする。

(2) 帰国子女

実施学部	経営		地域創造		国際社会	情報システム		看護栄養	
学科名	経営	国際経営	公共政策	実践経済	国際社会	情報システム	情報セキュリティ	看護	栄養健康
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
出願要件	<p>日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者のうち、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、次の①～③のいずれかに該当する者</p> <p>①外国の教育制度に基づく教育機関において、最終学年を含め2学年以上継続して学校教育を受け、12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む）を平成27年4月1日から平成29年3月31日までに卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者</p> <p>②日本の高等学校若しくは中等教育学校を平成29年3月31日までに卒業（修了）見込みの者で、中学校・高等学校を通じて3年以上外国の学校で教育を受け、かつ日本の高等学校若しくは中等教育学校後期課程の在籍期間が2年未満の者</p> <p>③次のいずれか一つを平成27年4月1日以降に外国において取得した者で、平成29年3月31日までに18歳に達している者</p> <p>（ア）スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>（イ）ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>（ウ）フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>（注）①及び②において、外国に設置された教育機関であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在籍した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p>								
選抜方法	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。								
出願期間	平成28年11月 1日（火）～11月10日（木）								
選抜期日	平成28年11月26日（土）								
合格発表日	平成28年12月 2日（金） ※学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を発送する。								
その他									

(3) 社会人

実施学部	経営		地域創造		国際社会	情報システム		看護栄養	
学科名	経営	国際経営	公共政策	実践経済	国際社会	情報システム	情報セキュリティ	看護	栄養健康
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
出願要件	<p>平成29年3月31日までに23歳に達し、次の①～③のいずれかに該当する者で、出願日現在、社会人として認められる者。</p> <p>①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者</p> <p>②通常の課程による12年の学校教育を修了した者</p> <p>③学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者</p>								
選抜方法	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、提出された出願書類及び大学が実施する小論文、面接の結果を総合して選抜する。</p>								
出願期間	<p>平成28年11月 1日（火）～11月10日（木）</p>								
選抜期日	<p>平成28年11月26日（土）</p>								
合格発表日	<p>平成28年12月 2日（金） ※学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を発送する。</p>								
その他									

(4) 私費外国人留学生

実施学部	経 営		地域創造							
学 科 名	経 営	国際経営	公共政策	実践経済						
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名						
出 願 要 件	<p>日本の国籍を有しない者であって、大学において教育を受ける目的をもって入国している者又は入国しようとする者で、次の①及び②のいずれにも該当する者</p> <p>①次の(ア)～(ウ)のいずれかに該当する者で平成29年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(ア) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者(平成29年3月31日までに修了見込みの者を含む)又はこれに準ずる者</p> <p>(イ) 文部科学大臣の指定した次のいずれかの者</p> <p>i. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>ii. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>iii. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>iv. 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(ウ) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者</p> <p>②独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成27年度又は平成28年度の日本留学試験を受験した者で、次の要件に該当する者</p> <table border="1" data-bbox="368 1317 1275 1485"> <thead> <tr> <th>利用科目</th> <th>試験の成績</th> <th>出題言語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本語、 数学(コース1又はコース2)、 理科又は総合科目</td> <td>成績要件は特に設けない</td> <td>日本語</td> </tr> </tbody> </table>				利用科目	試験の成績	出題言語	日本語、 数学(コース1又はコース2)、 理科又は総合科目	成績要件は特に設けない	日本語
利用科目	試験の成績	出題言語								
日本語、 数学(コース1又はコース2)、 理科又は総合科目	成績要件は特に設けない	日本語								
選 抜 方 法	出願書類、日本留学試験、及び大学が実施する小論文、面接の成績により総合的に選抜する。									
出 願 期 間	平成29年 1月 6日(金)～ 1月13日(金)									
選 抜 期 日	平成29年 2月25日(土)									
合 格 発 表 日	平成29年 3月 5日(日) ※学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を発送する。									
そ の 他										

実施学部	国際社会	情報システム																	
学科名	国際社会	情報システム	情報セキュリティ																
募集人員	若干名	若干名	若干名																
出願要件	<p>日本の国籍を有しない者であって、大学において教育を受ける目的をもって入国している者又は入国しようとする者で、次の①及び②のいずれにも該当する者</p> <p>①次の(ア)～(ウ)のいずれかに該当する者で平成29年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>(ア) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者(平成29年3月31日までに修了見込みの者を含む)又はこれに準ずる者</p> <p>(イ) 文部科学大臣の指定した次のいずれかの者</p> <p>i. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>ii. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>iii. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>iv. 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体(WASC、ACSI、CIS)の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>(ウ) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者</p> <p>②独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成27年度又は平成28年度の日本留学試験を受験した者で、次の要件に該当する者</p> <table border="1" data-bbox="349 1189 1414 1520"> <thead> <tr> <th>学部</th> <th>利用科目</th> <th>試験の成績</th> <th>出題言語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国際社会</td> <td>日本語、 数学(コース1又はコース2)、 総合科目</td> <td>成績要件は特に設けない</td> <td>日本語</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">情報システム</td> <td>日本語</td> <td>250点以上</td> <td rowspan="2">日本語又は英語</td> </tr> <tr> <td>数学(コース1又はコース2)</td> <td>120点以上</td> </tr> <tr> <td>総合科目</td> <td>120点以上</td> </tr> </tbody> </table>			学部	利用科目	試験の成績	出題言語	国際社会	日本語、 数学(コース1又はコース2)、 総合科目	成績要件は特に設けない	日本語	情報システム	日本語	250点以上	日本語又は英語	数学(コース1又はコース2)	120点以上	総合科目	120点以上
学部	利用科目	試験の成績	出題言語																
国際社会	日本語、 数学(コース1又はコース2)、 総合科目	成績要件は特に設けない	日本語																
情報システム	日本語	250点以上	日本語又は英語																
	数学(コース1又はコース2)	120点以上																	
	総合科目	120点以上																	
選抜方法	出願書類、日本留学試験の結果、大学が実施する筆記試験【国際社会学部(小論文)のみ実施】及び面接の結果を総合して選抜する。																		
出願期間	平成29年 1月 6日(金)～ 1月13日(金)																		
選抜期日	平成29年 2月25日(土)																		
合格発表日	平成29年 3月 5日(日) ※学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を発表するとともに、合格者に対して合格通知書を発送する。																		
その他																			

実施学部	看護 栄 養														
学 科 名	看護	栄養健康													
募集人員	若干名	若干名													
出 願 要 件	<p>日本の国籍を有しない者であって、大学において教育を受ける目的をもって入国している者又は入国しようとする者で、次の①及び②のいずれにも該当する者</p> <p>①次の（ア）～（ウ）のいずれかに該当する者で平成29年3月31日までに18歳に達する者</p> <p>（ア）外国において学校教育における12年の課程を修了した者（平成29年3月31日までに修了見込みの者を含む）又はこれに準ずる者</p> <p>（イ）文部科学大臣の指定した次のいずれかの者</p> <p>i. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者</p> <p>ii. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者</p> <p>iii. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者</p> <p>iv. 外国人を対象に教育を行うことを目的として日本において設置された教育施設であって、その教育活動等について、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC、ACSI、CIS）の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者及び平成29年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>（ウ）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者</p> <p>②独立行政法人日本学生支援機構が実施する平成27年度又は平成28年度の日本留学試験を受験した者で、次の要件に該当する者</p> <table border="1" data-bbox="336 1220 1426 1485"> <thead> <tr> <th>学科</th> <th>利用科目</th> <th>試験の成績</th> <th>出題言語</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護</td> <td>日本語、 数学（コース1又はコース2）、 理科（化学、生物）</td> <td>成績要件は特に設けない</td> <td>日本語</td> </tr> <tr> <td>栄養健康</td> <td>日本語、 理科（化学、生物）</td> <td>成績要件は特に設けない</td> <td>日本語</td> </tr> </tbody> </table>			学科	利用科目	試験の成績	出題言語	看護	日本語、 数学（コース1又はコース2）、 理科（化学、生物）	成績要件は特に設けない	日本語	栄養健康	日本語、 理科（化学、生物）	成績要件は特に設けない	日本語
学科	利用科目	試験の成績	出題言語												
看護	日本語、 数学（コース1又はコース2）、 理科（化学、生物）	成績要件は特に設けない	日本語												
栄養健康	日本語、 理科（化学、生物）	成績要件は特に設けない	日本語												
選 抜 方 法	出願書類、日本留学試験の結果、大学が実施する筆記試験【栄養健康学科（化学）のみ実施】及び面接の結果を総合して選抜する。														
出 願 期 間	平成29年 1月 6日（金）～ 1月13日（金）														
選 抜 期 日	平成29年 2月25日（土）														
合 格 発 表 日	平成29年 3月 5日（日） ※学内掲示板、本学ホームページに合格者の受験番号を公表するとともに、合格者に対して合格通知書を発送する。														
そ の 他															

9 調査書の提出について

高等学校生徒指導要録の保存期間（入学、卒業等の学籍に関する記録（各教科・科目等の修得単位数の記録を含む。）については卒業後20年、指導に関する記録については卒業後5年。）が経過したもの及び廃校・被災その他の事情により調査書が得られない場合には学生支援課学生グループに申し出てください。

10 身体に障害のある入学志願者の受験特別措置

身体に障害のある入学志願者で、受験上又は修学上特別な配慮を希望する者は、出願期間前のできるだけ早い時期に学生支援課学生グループに申し出てください。

なお、必要な場合は、本人又はその立場を代弁できる出身学校関係者との面接や医師の診断書等の提出をお願いすることがあります。

11 個別入学資格審査について

学校教育法施行規則第150条第7号（下記の入学資格審査の対象者に該当する者）により、本学の入学者選抜試験に出願を希望する者については、事前に本学の入学資格審査を受け、認定された場合に限り出願を認めるものとします。

なお、入学資格審査の申請手続等の詳細については、学生支援課学生グループへお尋ねください。

(1) 入学資格審査の対象者

平成29年3月31日までに18歳に達する者（社会人特別選抜は23歳）で次のいずれかに該当する者

- ①高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は平成29年3月卒業見込みの者でAO入試、一般入試又は私費外国人留学生特別選抜を志願する者
- ②中学校卒業者で、各種の学校等における学習歴及び社会における実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者で、AO入試、一般入試、又は社会人特別選抜を志願する者

(2) 申請期間

選抜区分	区 分	申請期間
AO入試	—	平成28年 9月 5日までに必着
特別選抜	社会人特別選抜	平成28年10月11日までに必着
	私費外国人留学生特別選抜	平成28年12月 9日までに必着
一般入試	大学入試センター試験出願の際、本学への入学を希望する者	平成28年 9月 9日までに必着
	大学入試センター試験出願の際、他大学から入学資格認定を受けた者で、その後本学への入学を希望する者	平成29年 1月16日までに必着

12 入試情報の開示について

平成29年度入試情報を開示します。詳細については、学生募集要項に掲載します。

13 学生募集要項の請求方法等

(1) 問い合わせ先

経営学部・地域創造学部	国際社会学部・情報システム学部・看護栄養学部
〒858-8580 長崎県佐世保市川下町123番地 長崎県立大学 佐世保校 学生支援課学生グループ Tel 0956-47-5703 Fax 0956-47-4616	〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1丁目1番1 長崎県立大学 シーボルト校 学生支援課学生グループ Tel 095-813-5065 Fax 095-813-5222

(2) 学生募集要項の配布時期

種 別	配布時期（予定）	配布方法	
A O 入 試	平成28年 7月上旬から	郵送又は大学の窓口	
特別選抜	平成28年 9月上旬から	郵送、大学の窓口 又は高等学校を通じて配布	
		郵送又は大学の窓口	
			推薦入試
			帰国子女
社会人			
私費外国人留学生			
一般入試	平成28年11月中旬から	郵送又は大学の窓口	

(3) 請求方法

①大学のホームページから請求する場合

大学のホームページから直接、テレメールによる資料請求ができます。

詳しくは、長崎県立大学ホームページ (<http://sun.ac.jp/>) をご覧ください。

②テレメール（24時間受付）で請求する場合

（ア）インターネット（携帯電話・パソコン）又は自動音声応答電話をご利用ください。

インターネット（携帯電話・パソコン）の場合		自動音声応答電話の場合
	<p>http://telemail.jp</p> <p>パソコン、携帯電話各社の共通アドレスです。</p>	<p>IP電話</p> <p>050-8601-0101</p>
	<p>バーコード</p> <p>※ 携帯電話ならバーコードを読み取るだけでアクセスできます。</p> 	

※ 一般電話回線からのIP電話への通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約12円です。

(イ) 資料請求番号6桁をプッシュ又は入力する。

資料名		資料請求番号	(+大学案内)
大学案内		5 6 7 5 5 2	
一般入試 募集要項	経営学部	5 8 7 5 5 2	5 4 7 6 5 2
	地域創造学部	5 9 8 9 0 2	5 9 8 9 1 2
	国際社会学部	5 8 7 5 8 2	5 8 7 6 8 2
	情報システム学部	5 9 8 9 2 2	5 9 8 9 3 2
	看護栄養学部	5 6 7 5 7 2	5 6 7 5 8 2
AO入試 募集要項	国際社会学部	5 8 7 5 7 2	5 4 7 6 7 2
推薦入試 募集要項	経営学部	5 6 7 5 9 2	5 8 7 5 9 2
	地域創造学部	5 9 8 9 4 2	5 9 8 9 5 2
	国際社会学部	5 4 7 6 9 2	5 4 7 6 4 2
	情報システム学部	5 9 8 9 6 2	5 9 8 9 7 2
	看護栄養学部	5 6 7 5 4 2	5 8 7 5 4 2

※ 別途払込手数料が必要となります。

(ウ) あとは音声ガイダンス又は画面に従ってください。

(ア)、(イ)に関する注意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日の翌日から3日後に資料が届きます。 ・ 発送開始日以降に請求された資料は請求してから2～3日後に届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4日以上かかる場合もあります（お届けまでの日数は請求日の翌日を起算日とします）。なお、5日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。 ・ 送料はお届けする資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。支払い方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「ケータイ払い（携帯電話通話料金と一緒にのお支払い）」がご利用になれます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります（手数料は支払い方法によって異なります）。送料は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。 ・ 自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・名前の録音時は、ゆっくりはっきりとお話してください。録音された音声の不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。 ・ 請求時期によっては資料がなくなり、早期終了する場合がありますので予めご了承ください。 ・ 一般入試学生募集要項は、大学のホームページからの請求に限り、通常受付終了後でも引き続きテレメール速達対応（レターパック）にて請求受付を行います。詳しくは大学のホームページでご確認ください。

※ (ア)～(ウ)の請求方法についてのお問い合わせ先

テレメールカスタマーセンター TEL (050) 8601-0102 (9:30～18:00)

③直接、大学に請求する場合

次の要領で、経営学部、地域創造学部は佐世保校学生支援課学生グループへ、国際社会学部、情報システム学部、看護栄養学部はシーボルト校学生支援課学生グループへ郵送にて請求してください。

- (ア) 返信用封筒（角型2号：縦332mm×横240mm）を用意する。
- (イ) 返信用封筒には郵便切手（長崎県立大学ホームページ参照）を貼付し、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記する。
- (ウ) 大学への送付用封筒と郵便切手を準備し、送付用封筒の表に「○○○○募集要項及び大学案内請求」と朱書で明記する。
- (エ) 準備ができた返信用封筒を折りたたみ、送付用封筒に入れて、投函する。

